

催 日 時	平成25年 5 月 9 日 (木) 午後7時30分～午後9時00分		
会 場	上河原公民館	出席者数	30人
地域座談会の内容 (意見交換等の内容等)			
<p>① 以前1市4町の合併の話が頓挫したが、今後の30%以上の人口減少をみると、合併見直しの話が出ると思うが、今現在どんな状況か。</p> <p>→ 現在の町長も、今の町の単位で地域の活性化を図る町政運営をしており、話が進まないのが現実である。人口が半分になると、今の行政サービスを維持していくのは難しくなる。我々組織としては、副市長、副町長の会議を設けながら、観光など広域的に連携した方がうまく進む施策について広めていこうと研究している。行政組織についても、火葬場のように1か所にまとめてする分野がほかにないか、効率的な分野を共同でやっていくことを広めていく考えである。地域の皆さんから必要性を十分認識してもらうための下地作りを地道にやっていくことが必要である。西郡が力を合わせていくことが活性化につながっていくとの認識もっている。</p>			
<p>② ただ今の人口減少の問題だが、ただ単に死ぬ人が多くて生まれる人が少ないのか。極端な都市への人口流出もないようだが、どのように分析しているのか。</p> <p>→ データによると基本的に30年後は、山形県で毎年9,000人ずつ人口が減っている。全体でも人口が減っていく中で、どういうふうに活力ある地域を維持していくかは、少子化対策を講じることが重要である。また、65歳以上の方々がいつまでも働けるような環境をつくっていくことが、地域全体に活力をもたせる力になる。活力を維持していくために、働く場所の確保、あるいは若い人たちが住みやすいような住環境の整備が必要である。</p>			
<p>③ 寒河江市の合計特殊出生率はどうなのか。</p> <p>→ 合計特殊出生率では、人口を維持できる数字としては2.08だが、1.5とか1.4または1.3が全国的な状況となっている。それを増やしていくのは大変なことだが、色々な施策を講じていかなければならない。</p>			
<p>④ 人口減のところは合計特殊出生率が低いのか。</p> <p>→ 一概には言えないが、生まれる人・亡くなる人の関係、または社会的な減少もあるが、人口ピラミッドを考えると自然現象、社会的現象が加味された数字であると思う。</p>			

⑤ 西川町は小学校が一つになった。寒河江市内でもそういうことがあるのか。

→ 子供が減るとそういうこともなきにしもあらずで、今年3月で田代小学校が廃校になった。

⑥ 学童保育について、三泉地区ではどう考えているのか。今現在ないのは、三泉、醍醐、白岩、幸生だが、地域の要望がどれだけあれば学童保育ができるのかわからない。5～6年前に娘が市内に戻った時、学童保育のある西根小学校に入学を希望したが、住所が三泉だったため認められず、やむなく西根地区にアパートを借りて学童保育のある学校に入学させた経緯がある。三泉地区には学童保育が必要か、必要でないか、考え方を聞かせてほしい。

→ 学童保育については、今年4月に高松小学校の中にできた。オープンまで5年くらいかかった。利用者が10人以上いないと国からの補助金が出ないので、市からの補助を上乗せして5人以上いると作れるようになっている。一人9千円から1万円位納めていただいても、行政の支援がないと運営できない。5人が手を挙げればできる仕組みにはなっているが、要望は出るが実際利用する人は少ないのが現状である。いずれにしても垣根は低くして、受け皿は用意させていただくので、皆さんの中でご協議いただきたい。

⑦ デマンドタクシーを運行しているが、循環バスの運行は考えているか。三泉は買い物難民になっている。病院、店、市役所関係を廻る循環バスの運行はどうか、お伺いしたい。

→ 現在、デマンドタクシーを運行しているが、三泉は元気な人が多いのか利用率が低い。循環バスについても、検討したいとしている。デマンドバスは公共交通機関（山交）の路線バスの営業妨害にならないようにしなければならない。山形市の七日町の100円バスのようなことができないか研究している。うまく活用して、町の中で買い物、風呂、医者などの用がたせるようになればと思っている。要望はあるが利用する人が少ないということもあるので、ニーズの調査をさせていただき、利用者が多いことが確かめられれば進めていきたい。

⑧ 寒河江川の堤防が通学路になっているが、泉の館のトイレの所と学校跡地の公園の中には街灯があるが、堤防には街灯も電柱もない。市としてはどう考えているか。

→ 防犯灯・街路灯は色々な地域からの要望を受け設置している。ただ、電気代については地元で地域の皆さんから負担していただいている。要望が多いので、順番で順次整備することになる。今年からLEDにしており、電気料が少し安くなり、地域の負担も減少している。通学路優先で具体的に設置個所を決め、地元の意見を

まとめて要望して欲しい。順番にはなるが、整備させていただく。

⑨ 太陽光のソーラーシステムのほか、川の落差を利用した水力発電などがあるが、1基あたりどのくらいかかるのか。

→ 小水力発電については、山大工学部の知恵を借りて今年研究することになっている。どのくらいかかるかは、まだわからない。

⑩ 寒河江、西村山だけでなく、全国的に人口減少していく。夢のようなアイデアだが、高齢化が進む中、医療・介護・福祉関係の資格を取れるような機関を寒河江、西村山に誘致・設置してはどうか。地元には4つの高校があるが、身近なところで就職でき、他からも若者がやってくれば若者が増えてくる。

また、人口減少問題を嘆いているばかりでなく、外国人の若者の受け入れ等も研究し、希望のもてる施策をすべきではないか。

→ 人材育成について、非常に先進的な意見である。地域のニーズに合わせ市立病院に療養病棟を整備したが、これから増々リハビリや介護の資格者が必要になってくる。有資格者が県内に就職できることになれば、人手不足が解消され福祉・医療の充実が図られる。教育の機関については大きい枠で考えた方がいいので、県にも申し上げていきたい。人口減少を食い止めるには、外から人を入れるのも一つの手である。山形県や他県でも研修生として外国から受け入れたこともあったが、なかなか定着しなかった。労働力として来てもらうという考えもあり、機会があれば、県の方にも提言したい。

⑪ 庄内の合併では、最初メリット、デメリットが叫ばれたが、酒田市も鶴岡市も首長が代わり、首長や政策担当の評価はどうか。

→ 鶴岡市の富塚前市長の話によると、最初はふるしきを広げ垣根を低くして、まずは合併のテーブルについてもらうことだそうです。周りの町・村を受け入れ、ふところを広くしてテーブルについてもらい、庄内では中心部が周りを受け入れた。山形市の場合は、周りの中山町・山辺町は合併したが、山形市が合意しなかった。

⑫ 周りの市町村では学校の廃校・休校がどんどん進み、立派な建物が使われなくなりもったいない。村山市の山の内では小さな学校を3千万円かけて宿泊施設にし、研修や体験活動に使われている。今後、このようなもったいない施設をどうするか。関東一円の寒河江市出身の有力者に協力をお願いし、山里体験、農業体験等を実施してはどうか。先手先手に手を打ち、せつかくの財産が無駄にならないようにしてはどうか。

→ 田代小学校が廃校になり、利活用について地域の方々と話をしている。田代の集落支援員を配置し、専属で利活用について進めている。秋田県ではコールセンターを誘致したことが新聞に載っていた。寒河江市では企業誘致のため、山形県東京事務所に職員を派遣している。田代は以前より早稲田大学と交流があるが、大学にも利活用をお願いしているところである。

⑬ ツール・ド・さくらんぼはいい企画で、全国から申し込みがあったそうで、このようなさくらんぼを看板として打ち出し、さくらんぼの名前のつく事業を進めてもらいたい。また冬に東根に行く機会があり、その際タントクルセンターに寄ってきた。大きな施設で、低燃費の全館暖房で暖かく、子どもとお年寄りの交流の場もあり、このような施設が寒河江でも構想してもらえればありがたい。東根には中高一貫校もできるそうで、三泉からも行くようになるだろう。

→ 保護者の要望があり、ハートフルセンターに平成24年7月から「ゆめはーと寒河江」を増設した。ハートフルセンターは子どもだけでなくお年寄りの利用もあり、時代とともにそのニーズも多様化しているので、施設の改修も必要になってくる。野外型の施設としては、県の施設であるふるさと総合公園に、県にお願いして大型遊具を増設してもらおうことを考えている。ツール・ド・さくらんぼの申し込みは500人の定員をこえ、さくらんぼの時期での事業を定着させていきたい。

⑭ 市の行政区分けとして、三泉は8番になっており、それは三泉の合併が遅れたことによるものであるが、町会長、老人クラブ、学校行事、市の大会などいつも8番目で最後である。この順番はずっと続くのか。特に子供たちのことについては、何とか考えて欲しい。

→ 子供たちにとって理不尽なことがないように、これから研究させていただきたい。